

膳かしはでの王の歌一首おほきみ うた

九五四番

朝あしたには 海辺うみへにあさりし 夕ゆふされば 大和やまとへ越こゆる 雁かりしともしも

大宰少貳石川朝臣足人の歌一首ださいのせうにいしかはのあそみたるひと うた

九五五番

さすたけに 大宮人おほみやひとの家いへと住すむ 佐保さほの山やまをば 思おもふやも君きみ

帥大伴 卿の和ふる歌一首そらおほとものまへつきみ こた うた

九五六番

やすみしし 我わが大君おほきみの 食をす国くには 大和やまともこゝも 同おなじとそ思おもふ